AT STOCKING

ATストッキング

―――履き方ガイド―――

このたびは本品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ATストッキングを便利にお使いいただくためにこの「履き方ガイド」をご覧ください。
また、お読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

使用上の注意

【してはいけないこと】

●次の治療を受けている方は使用しないでください。
・重度の動脈血行障害、重度のうっ血性の心不全、有痛性青股腫、感染性静脈炎
●装着部位に極度の変形がある場合は使用しないでください。

【相談すること】

●次の方は着用前に医師にご相談ください。
・現在医師の治療を受けている方
・現在装着部位にかゆみや発疹、創傷のある方
・現在装着部位にしびれや麻痺のある方
・糖尿病、高血圧、心臓病、腎臓病の診断を受けた方
・血行障害を起こしたことのある方
・繊維に対してアレルギー症状を起こしたことのある方
・麻酔を使用しての手術を受けたり、長期にわたり入院したことのある方
●次の場合はただちに着用を中止し、医師にご相談ください。
・かゆみ、発疹、痛みなどの異常を感じた場合
・装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合

【その他の注意】

●着用の際には裏面の装着手順を参照してください。
●たるみやしわのないように装着してください。
●サイズが合わないものを使用しないでください。各部位の周径が変わった場合は適切なサイズに変更してください。
●一日に数回、観察穴から皮膚や爪の色を確認してください。また、一日一回は脚全体の状態を確認するために履き直しを行ってください。
●本品に伝線、ほつれ等が生じた場合は新しいものと交換してください。
●本品を折り返して着用したり、はさみで切るなどの加工、修理を行っての着用はしないでください。
●医師の指導がない限り本品を他のストッキングや靴下等と重ねて着用しないでください。
●就寝時の着用については、必ず医師の指示に従ってください。

お願い

ストッキングをいためないために、以下の点をお守りください。

●指輪など鋭利なものは、ストッキング着用の際ははずしてください。
●手足の爪が伸びていたり、反っていたり、肌荒れした手で取り扱う場合は十分注意してください。
●強く引っ張り上げずに、少しずつ引き上げて装着してください。
●軟膏などの薬品や油脂類がストッキングに直接付着しないようにしてください。
●洗濯する場合は、お手入れ方法に記載された方法で洗濯してください。

装着後の確認

装着後は次の確認をしてください。

●つま先が的確な位置にありますか？
・つま先は締め付けられないように、圧が弱い部分にくるよう位置を調節してください。
・つま先を観察するとき以外は観察穴から足を出さないでください。
●かかとが的確な位置にありますか？
・かかとは水色の四角い部分に合わせてください。
・足が小さい方は、かかとの位置を水色の四角い部分に合わせ、つま先の部分が余るようにしてください。
●たるみやしわはありませんか？
・装着後にたるみやしわがある場合はストッキングをつまんでしわが伸びる程度に引き上げます。
・引き上げる時は強く引っ張り上げないでください。
・本品の上端を折り返しての装着はしないでください。

観察方法

使用中は毎日観察してください。

●つま先の観察穴からつま先を出し、皮膚や爪に変色がないか確認してください。
●ストッキングの上端が、折り返されたり丸まっていないか確認してください。
●皮膚が変色していないか確認してください。

お手入れ方法

●洗濯の際は、水と洗濯用合成洗剤などでていねいに押し洗いし、日陰で吊り干しにしてください。洗濯機を使用する場合は、洗濯ネットに入れ弱水流で洗濯してください。
●乾燥機の使用、ドライクリーニングは避けてください。また、アイロン、塩素系漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。製品をいためる原因となります。

素材

膝下：ナイロン、ポリウレタン
股下／アジャスタブル：ナイロン、ポリウレタン、ポリエステル
ポリイソプレン（クロロプレン）

【お願い】
本品を廃棄する際は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

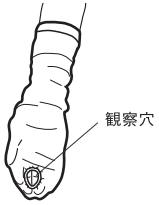
※製品の仕様、外観等は改良のため予告なく変更することがあります。
※製品には万全を期しておりますが、万一不良等お気づきの点がございましたら当社までご連絡ください。

SIGMAX 日本シグマックス株式会社
〒163-6033 東京都新宿区西新宿6-8-1 TEL.03（5326）3230

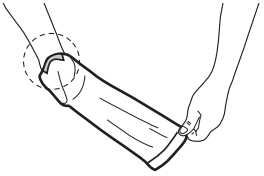
08403-NSP-1
2013.11（改版）

装着手順

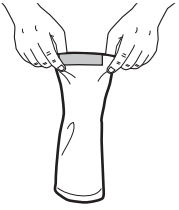
1 手をストッキングの上端から足の部分まで入れます。



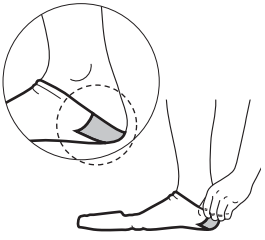
2 ストッキングの上端を反対の手でしっかり握り、ストッキングをかかとの目印部分（水色の四角部分）の半分まで裏返します。



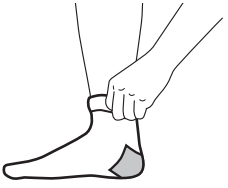
3 ストッキングから手を引き抜きます。



4 ストッキングのかかと部分を広げ、足を入れます。このときかかとがストッキングの折り返したかかと部の中心に確実にくるように合わせます。



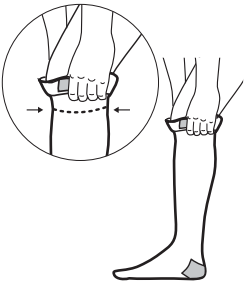
5 ストッキングの裏返しになった部分を上端部までたぐりよせてまとめてつかみ、広げながらしわができないようにかかとと足首にかぶせていきます。圧迫圧が強いためやや力がいりますが、強く引き上げないようにしてください。



広げにくくかかと部分を通しにくい場合

裏返しになった部分を上端部までたぐりよせず、両手で少しずつたくし上げてください（かたまりよりストッキングが2枚分の方が広げやすくなります）。

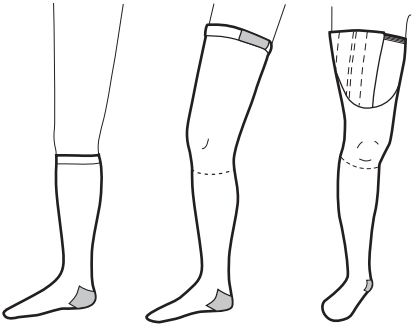
6 膝下までしわができないように注意しながら均一に履きあげます。このとき股下、アジャスタブルは、膝下の目印を膝下位置にあわせます。圧迫圧が強いためやや力がいりますが、強く引き上げないようにしてください。



7 股下は残りの部分を伸ばしすぎないように注意しながら履きあげます。上端部の圧迫緩和部が大腿部の内側になるように位置を確認してください。アジャスタブルはアジャスターパネルが大腿部の前面になるように位置を調節してください。

8 つま先部分を少し引っ張りゆとりを与えます。つま先を観察するとき以外は観察穴から足を出さないでください。

9 つま先とかかとの位置を確認し、たるみやしわがある場合はストッキングをつまんでしわが伸びる程度に引き上げ、取り除いてください。



膝 下　股 下　アジャスタブル